

一定の投資性金融商品の販売に係る

重要情報シート（個別商品編）投資信託

1. 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

| | |
|---------------------|--|
| 金融商品の名称・種類 | フィッシャー・グローバル・スモールキャップ・エクイティ・ファンド／証券投資信託 |
| 組成会社（運用会社） | アセットマネジメント One 株式会社 |
| 販売委託元 | アセットマネジメント One 株式会社 |
| 金融商品の目的・機能 | わが国を含む世界の金融商品取引所に上場する株式（上場予定を含みます。）の中から、主として、小型株式に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。 なお、ポートフォリオの構築にあたっては、各国の経済動向や各産業セクター動向を調査・分析し、トップダウン・アプローチによってマクロビューを策定します。それらのマクロビューが反映されるように、精査した銘柄に分散投資を行います。 |
| 商品組成に携わる事業者が想定する購入層 | この商品は、中長期での資産形成を目的とし、この商品の運用方針に則した収益を求め、元本割れリスクを許容する方を主な購入層として念頭においています。 |
| パッケージ化の有無 | この商品は、投資対象としている資産に直接投資しています。 この商品の投資対象としている資産を個別に購入できる場合がありますが、お客さまご自身でこの商品と同様の運用を試みたとしても、一般的には組成会社（運用会社）が実施する運用を再現することは困難です。 |
| クーリング・オフの有無 | クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。 |

（質問例）

- ① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

| | |
|---------------------|--|
| 損失が生じるリスクの内容 | 運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 |
| | 投資先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。 |
| | 為替相場の変動による影響を受けます。 |
| 【参考】 過去 1 年間の収益率 | 82.4%（2021 年 3 月末現在） |
| 【参考】 過去 5 年間の収益率 | 2018 年 10 月に設定されたため、2019 年 10 月～2021 年 3 月の各月末における直近 1 年間の数字を用いています。 平均 16.9% 最低-16.3%（2020 年 3 月） 最高 82.4%（2021 年 3 月） |

※ 損失リスクの内容の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、「運用実績」に記載しています。

（質問例）

- ④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

| | |
|--------------------|---|
| 購入時に支払う費用（販売手数料など） | 購入時の基準価額に対し、3.30%以内（税込）。 詳細は、目論見書補完書面等をご確認ください。 |
| 継続的に支払う費用（信託報酬など） | 信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率。信託報酬率は年 1.87%（税込）。また、その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。 |
| 運用成果に応じた費用（成功報酬など） | ありません。 |

※ 上記以外に生じる費用を含めて詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

（質問例）

- ⑥ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。
- ⑧ 上記費用について、何の対価か説明してほしい。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

| |
|---|
| この商品の償還日は 2028 年 9 月 25 日です。但し、償還延長や繰上償還の場合があります。 |
| この商品に換金時手数料は生じませんが、換金した際に発生する有価証券売買コスト等、残存受益者への影響を低減する目的で信託財産留保額（0.3%）を換金時にご負担いただきます。 |
| 市場の閉鎖、海外の取引所・銀行の休業日の場合等、換金ができないことがあります。 |

※ 詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

（質問例）

- ⑨ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社がお客さまにこの商品を販売した場合、当社は、ファンドから組成会社（運用会社）を通して信託報酬の一部（年率0.715%（税込））をいただきます。これは、お客さまへの情報提供等の対価です。

この商品の組成会社（運用会社）であるアセットマネジメント One 株式会社は、株式会社みずほフィナンシャルグループの連結子会社です。

当社の営業員に対する業績評価上、この投資信託の販売が他の投資信託の販売より高く評価されることはありません。

※ 利益相反管理方針の概要については、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.mizuho-sc.com/souhan.html>

（質問例）

⑩ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、**私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。**

私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6. 租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時に、配当所得として、普通分配金に対して20.315%が課税されます。また、換金時および償還時に、譲渡所得として、換金時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。この商品は、NISAの対象商品です。

※ 詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当社 Web サイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

販売会社（当社）が作成した「契約締結前交付書面」

この商品の契約締結前交付書面はありません。また、目論見書補完書面は、当社 Web サイトには掲載されておりません。お取引店の担当者またはコールセンターにご連絡いただくか、みずほ証券ネット倶楽部からご確認ください。

組成会社（運用会社）が作成した「目論見書」

https://www.mizuho-sc.com/ap/product/toushin/fund_result.html?KEY99=4731118A



※この商品のページへのリンクです。ページ内の「目論見書」の文字をクリックすることで、目論見書 PDF ファイルをご確認いただくことができます。

金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、書面でお渡します。

（2021年8月31日）